

農家と地域生活網の維持・発展を支えるサービスで地域に貢献 計画的な後継者育成と事業承継で持続的経営と事業拡大を実現

同社は農機具の販売、修理を行っている。1962年に創業し、2019年10月に事業承継、現社長（宗岡利展氏）で4代目となる。創業以来、農機具の取り扱いを通じ、農業従事者はもとより、近隣生活者の個別ニーズを把握し、農家等の住宅設備改善の事業分野にも進出した。地域において重要な生活インフラを担っている。また、事業承継時に組織の若返りを図るとともに、引き続き、長年の業歴で培われた顧客との関係性、農機具修理技術のノウハウを活かし、今後、需要の拡大が見込まれる中古農機具分野にも参入。

所在地	岡山県高梁市成羽町下原263-4	設立	1962年
電話/FAX	0866-42-2159/0866-42-2162	資本金	1,000万円
URL	なし	従業員数	9人
代表者	代表取締役 宗岡 利展		



前経営者と後継者が一体となり計画的な事業承継に取り組んだ模範的事業所

2010年1月、農機具関連会社で社会人経験を積んだ子息（現社長）が後継予定者として家業に入り、先代社長から指導を受けながら事業に取り組んできた。その過程で、自らも経営者に必要な知識を学ぶため、岡山県商工会連合会主催の「第3期 おかやま後継者アカデミー（開催期間：2018年8月21日～2019年3月6日の約8か月）」等に参加し、セミナー・個別指導を通して後継者として必要な知識を習得した。計画的な事業承継の実行により社長交代が完了。模範的事例として、岡山県庁より紹介された。



おかやま後継者アカデミーで学ぶ現社長

県下初となる「農機具預り安心サポートサービス」を事業化

同社近隣で兼業農業を営む顧客から「農作物の収穫時期において農機具を徐々に稼働させる際、故障して困る」という相談が多数寄せられていた。そこで現社長は、農機具の保守と保管の両方を長期的に行う「農機具預り安心サポートサービス」を立案した。岡山県下で初となる同サービスは、岡山県知事より経営革新計画の承認を受け、事業承継補助金を活用し事業化を進めた。同サービスの提供で、顧客は農機具を収穫期に最良の状態で使用可能となった。引き合いも好調に推移し、受注は事業開始1ヶ月で初年度計画を達成した。



顧客から預かった農機具のメンテナンス

外部講師を招聘してのスキルアップ研修および右腕となる幹部人材の育成

外部講師（農機具メーカー等）を招聘し、農機具や農作物の知識を習得する社内研修会を定期的開催。最新の情報や機械操作ノウハウを取り入れた提案型の営業体制を実現し、顧客満足度向上を図っている。普段から従業員との密なコミュニケーションを重視し、従業員のやる気向上のため、部門ごとに細かく社内表彰制度を設けている。現在、経営者の右腕となる人材の育成にも注力しており、社外で行われるリーダー育成研修への参加などを通して営業部門を統括できる幹部を育成、さらなる事業の発展を目指している。



社内研修会で学ぶ従業員